|  |
| --- |
| ＜主な質問＞* 小中一貫義務教育学校導入の検討について、大きな教育改革にも関わらず拙速すぎるのではないか。
* 教育基盤整備においては教育長だけではなく、市長にも大きな責任があると考えるが、ど新市長はどのように捉えているか。
* 先生いきいきプロジェクトについて、タイムレコーダーは出勤時だけでなく退勤時もつけているのか。
* この間掲げてきたインクルーシブ教育はどのくらい進み、現場に浸透したのか。
* 小学生の荷物、教科書、ランドセルが重すぎる。教科書、ドリル、宿題も多く、忙しい子どもたちが増え、競争の要素が増えているのはないか。
* 教育課程を頑張って市立を選んでもらえるようにする、という教育長の発言について疑問を感じる。公教育は「みんなの学校」として守るべきものであり、私立と競争するものではないと考えるがいかがか。
* 地域人材を学校とつながる人材バンクを八王子市のようにわかりやすくホームページで募集するなど工夫をしたらいかがか、また、生涯学習事業団との連携は。
* 生涯学習事業団の親子向け事業を評価するが託児の実績は。
* 教育食育振興財団による安全は給食を大変評価している。一部の米の購入停止について説明を求める。
 |

**【笹岡委員】**　午後もよろしくお願いいたします。

　この間、議会のほうでも小中一貫等に関するさまざまな意見があったと思います。ここで一度お伺いしたいのは、この是非もそうですけれども、この間の教育改革と言えるような大きな方向性、例えば小・中を一貫にして、小学校５年生から教科担任制になるという内容のカリキュラムの話というのは、非常に大きな変化だと思っています。

　そのときに私がいつも思い出すのは、ゆとり教育のことです。私は、ちょうどゆとり教育が始まる１年前の生まれの年で、下の人たちから始まったと思っています。

このゆとり教育の私の後輩たちは、就職に関しても、例えば仕事ができないとか空気が読めないといったレッテルを張られたり、「これだからゆとりは」と言われたりしてきた。

**これは、教育の大きな変換の影響を受けた子どもたちだと私は思っています**。ですので、**武蔵野における教育を大きく変えるのであれば、相当な大人の責任（が生まれるの）だと思っております**。

　この間の市長のかかわり方、総合教育会議等もございますが、**武蔵野の教育基盤整備については、市長、明確にかかわっていると思います**けれども、こちらに対してのお考えを伺いたいと思います。

**【松下市長】**　済みません、漠然としている感があって、どう答えればいいのか。教育にかかわるのは大人の責任だという御趣旨の御質問かと思います。

　教育は非常に重要であると考えております。小中一貫教育については、今、検討会で議論が行われておりますので、その議論の経過を見守りつつ、また子どもたちの現状もしっかりと確認した上で、最善を目指していきたいと考えています。

**【笹岡委員】**　済みません、私の聞き方があれで。でも、本当にそう思っているのです。

　ゆとり教育が始まったとき、きょうはゆとりの話をしたいわけではないですけれども、1970年代に現場のほうから、ゆとりのある学校ということが提起された。その後、小渕内閣、98年で本格的にゆとり教育が始まった。この流れを比べてみても、この小中一貫の６・３制を変えるということは、教育の改革がすごく速いスピードで起こっていると思っているのです。

なので、私は武蔵野がいかなる選択をするかわかりませんけれども、改革した場合に、教育を変えた場合に、これは**子どもたちにとって非常に大きな影響があること**だと思っているのです。

　しかも、この**学校整備基本方針（仮）を見たときに、もし義務教育学校をやるのであれば、全市的に展開すると書いてありました**。

この箇所にモデル校を１校とかではなくて、全市的に義務教育学校にすると書いてあったので、これは物すごく大きなことだと私は思っているのです。その割には、お話もすごいスピードで進んでいるなと思っておりますので、ここは疑問に思っております。

　もう一点は、**先生いきいきプロジェクトについて**、伺いたいと思います。先生いきいきプロジェクトが始まって、定時退勤日や長期閉庁日の設定等を一層進めるとありますが、こちらは具体的にどんなことか、もう一度確認させてください。

なぜならば、タイムレコーダーを活用した出退勤システムの構築と出勤簿等の作成を自動化とありました。こちらは**退勤は記録されているのでしょうか**。私の同じ世代で教育科を出た友達が何人かおりますが、**出勤はタイムレコーダーにやるけれども、退勤はしないという声が聞こえていまして、そういったことはどうなのか伺いたい**と思います。

　もう１点は、この間の特別支援教育、個に応じた指導や支援が充実されてきて、先生が各校を回るようになったといった大きな変化があったと思いますけれども、**インクルーシブ教育システムがどのぐらい進んだのか**、抽象的ではありますけれども、どのぐらい構築できたのかという現況の感触を伺いたいと思います。

**【秋山指導課長】**　では、先生いきいきプロジェクトについて、お答えいたします。

　今、議員のほうから具体的にお尋ねいただきました定時退勤日につきましては、原則週１回、水曜日の学校が多いと思いますけれども、定時で退勤するように声をかけ合っているという状況でございます。

　それから、学校閉庁日につきましては、夏休みあるいは冬休みの中で、全教員が出勤しない、学校の業務をその日はしないという日を設けるというものでございます。**小学校では、１日とか２日とか、今年度は設けている**ところでございます。中学校等についても、今年度は進みまして、１日設けている学校がふえてきております。

　それから、タイムレコーダーについてのお尋ねでございますけれども、本市で今、２校に試験的に導入しているものについては、**出勤と退勤を記録するという形のもの**でございます。まだ、全都的には、このタイムレコーダーを入れていないところが多いかなと思っております。

**【宮崎教育長】**　インクルーシブシステムとおっしゃいましたけれども、**教育の面で言うインクルーシブ教育がどの程度進展しているかというお尋ね**かと思います。

　この間、障害者の権利に関する条約が批准されまして、これが平成26年でございます。そして、２年後の28年には、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律も施行されたわけでございます。基本的には、それ以後、国も東京都も、そして武蔵野市も挙げて、いろいろな形で障害の状態にある、障害のある児童生徒について、ない子どもたちと、ある子どもたちについて、**なるべく教育が等しく向けられるような状況をつくっていく**ということで、いろいろな改革を進めているところでございます。

　現在、特に昨年、ことしと進めてきました**特別支援教室の取り組み**などもそういったところでございまして、そうした発達に障害のあるお子さんが、可能な限り通常の学級の中で学習が進められるように、どういう支援をすることができるかということを、なるべくその通常の学級のある学校を場として、そこでの教育支援をどうしたらいいかということを考えてきているということがあると思います。

また、それが進むことによって、逆に障害のないお子さんについては、非常に身近なかかわりができるということから、**障害に対する理解というものは、人間の非常に個性的な側面であるということを互いに認知できるような環境も進んできているのかなと思います**。

すぐに、何月何日からイクルーシブ教育が成立しましたということは言えないわけですが、徐々にいろいろな人たち、いろいろな子どもたちがともに学ぶことができるような環境が整ってきているという認識で私はおります。

**【笹岡委員】**インクルーシブ教育の概念・理念というのは非常に大事なことだと思いますので、ぜひそれが現場にまで落ちるように、しっかりとやっていただきたいと思います。

　子どもの現状について伺いたいと思います。この前の報道でありました、**子どものランドセル、荷物が重い問題**というのがありまして、お母さんの間で非常に話題になったのです。

何かと言うと、子どもの荷物は非常に重くて、ランドセル自体が重いのですけれども、**海外だと荷物の全ての重さが体重の10％から20％を超えないようにしないと、子どもの健康を損なうおそれがあるとして、アメリカなどは法案が可決されて、10％以上になってはいけないということだそうです**。カリフォルニア州です。

スペインでも、調査対象60％以上が体重の10％を超えるバックパックを持っていて、25％の子が年に15日以上の腰痛を経験している。これは、結構注目すべきことだと思っています。ランドセル文化に隠された弊害だと私は思っています。

　荷物に関して言うと、**私の息子も小学校１年生にようやくなったのですけれども、国語・算数だけ見てみても、７冊から８冊持っていっている**のです。このぐらいの厚みになって、相当の重さです。プラス、生活があったら生活、音楽があったら音楽。筆箱もかちっとした四角い、きちんとしたものを買いなさいと言われていますので、買っています。

　先輩のお母さんたちに聞くと、荷物もどんどんふえている、教科書もふえていると思うし、宿題もふえているし、宿題の丸つけもふえている。

宿題がふえているというのは、私は宿題を１時間ぐらいかけてやっていますし、宿題も５種類から６種類ぐらい出ます。これに対して、子どもがやることがふえているのではないか。**忙しい子どもとか疲れる子どもがふえているのではないかと思っています**が、いかがでしょうか。

　あと、この先生いきいきプロジェクトに基づいて、先生の事務作業を減らすような取り組みというのは、非常に課題感を持って取り組まれていることだと思っています。事務職員さんをふやしたりとか、副校長先生にヘルプの方を入れたりということはあると思いますけれども、宿題がこんなに多かったら、先生はすごいことになっていると私は思っているのです。その辺、いかがでしょうか。答えられる方、お願いいたします。

**【秋山指導課長】**　宿題の量につきましては、各学校で子どもの実態に合わせて過重な負担とならないようなところで調整をしているものと考えているところでございます。５種類、６種類というお話、今ありましたけれども、種類もそうですが、総量のところで担任のほうで調整しているのではないかなと考えております。

　それから、宿題の丸つけで教員の負担がふえるのではないかという趣旨のお話だったのかなと思っておりますけれども、そのあたりも教員のほうで、必要なものはきちんと丸つけ等の作業はしていくべきだと思っております**（※注　宿題の丸つけは保護者です）**し、そこに対して、学習指導員等の支援を受けることも可能ということで、学校には話をしているところでございます。

　ランドセルについては、また、ランドセルのよさというものもあろうかと思っています。かっちりとした形であるので、例えば後ろ向きに転んでしまったようなときに、ランドセルがクッションのようになって頭を打たないで済んだという事例も、実際に私、学校に勤めていたときにもありますので、そのためにランドセルを背負っているわけではないですけれども、そんなこともありますので、ランドセルの効果、また重さ等々のことについては、今後、研究していく内容かなと思います。

**【笹岡委員】**　**ランドセルを否定したわけではないのです。**そうではなくて、この間、また、私が子どもだったころから比べて、**子どもたちは非常にやることが多くなって、忙しくなっているのではないですかと申し上げた**のです。

なぜならば、私も小学校から中学校は私立を受験した、今では割と多くなってきたパターンではございますけれども、担任の先生とかさまざまな先生方からのお声も伺うと、非常に一生懸命なのです。

小中一貫を経験された人（先生）は、中学で困ることのないように、しっかりと低学年からやっているということで、**一生懸命やっているからこそ、こうなっている**のですね。

**個性を伸ばすというよりは、たくさんやることがあって、目指しているところがどこなのかというのは疑問に思います。**

　先ほど教育長は、私立は人気だけれども、教育課程をしっかりと頑張って、武蔵野市立に行っていただけるようにしたいというお話がありましたが、**私はこれは比べるところが違うのではないかなと思っています**。

私は、自分の経験で中学校受験しましたけれども、それは中高一貫だったりとか、そういった環境を欲したとか、いろいろな要因があります。

それで、武蔵野が小中一貫を頑張って教育的なことももっと頑張って、できる子どもたちをふやしたら私立に行かない子がふえるといったことではなくて、**私は公教育であれば、みんなの学校的な要素をふやしていただきたいと思います**し、この**特別支援の子たちとか、教育格差を埋めるような、上を伸ばすのではなくて、下に行きそうな子を押し上げるような施策をしていただきたいと思っている**のですけれども、先ほどの教育長のお言葉は、教育課程を頑張って、武蔵野市立に行っていただけるようにしたい。この辺の御説明をもう一回お願いしたいと思います。

　私は、**小学校とかの教育の場は大事にしてほしいと思っているのです**ね。**競争的な要素とか、やらなければいけないことがたくさんあって大変だとか、怒られないようにしなければといったことではなくて、みんなのための学校の要素こそ伸ばしていって、多様性とか個性が認められるような学校の場にしていただきたいと考えているのです**けれども、いかがでしょうか。

**【宮崎教育長】**　先ほど、ほかの委員の方に私が申し上げたことにかかわるようなことで御質問いただきました。

　先ほど申し上げたように、教育委員会として武蔵野市立の学校を担当していくからには、武蔵野市立学校に入ってよかったと思われるような教育を市民に提供していくことが使命であると考えていますということであって、私立の学校は、それぞれいろいろな形で頑張っていらっしゃる。

それから、私立学校というのは学校法人がつくることができる学校ですが、これはいろいろなお考えのもとで展開されている。ちょっと考えると、私立の学校が受験のためだけに行っているみたいに世間の印象として語られるのは、ちょっとどうかなと思っておりまして、この市内にある私立学校も、それぞれがこういう考え方に基づいて教育を進める。

それに賛同する方の子弟を集めるということを進めているわけでございます。

決して、受験のためだけに、将来につながる、高等教育へつながるためだけにやっているわけではないと思います。

**だから、私はどちらを選んでもいい。でも、武蔵野市が市立学校として提供するものは、選びがいがある、学びがいがあるという学校にしていかなければ、私たちのそうしたミッションは果たせないのではないかなと思っているということでございます。**

　それと、今の小中一貫教育のモデルにしても、それから小・中別で今後こう改善していくと加えた、今、比較検討しているモデルにしても、何か**先取り学力とか前倒し学力といったものを早期にやる早期教育のような傾向を持っているものではなく**て、**子どもたちに保障してあげるべき基礎・基本と、そして、それをもとにいろいろ展開できるキャリア教育への側面**とか、それから、**自分の個性を伸ばしていく、いろいろな方面を選択できる能力とかを育ててあげたいという願いでしているものでございます**。

　例えば、最初に委員から教科担任制の問題も出ましたけれども、これは現在、教育内容がかなり高度化してきている中で、小学校の先生方は準備に追われて、教材研究に追われてしまっているところがちょっとございまして、特に話題になっていますが、これから導入されていく教科としての英語が小学校５、６年に入ってくるということを考えますと、それはある程度、それにたけた先生、専門性の高い先生に教えていただかなければいけない場面もあるのではないか。したがって、教科担任制には一部教科担任制という言い方もしておりまして、その辺も実は検討している中の一つです。

　これは、小・中学校、別であっても、一部教科担任制はできるわけでございます。例えば、６年生を持った３人の担任の先生がお互いの専門性の高いものを大抵持っております。

中学校の先生も全科免許を持っていると同時に、理科研究の分野が得意なので中学校の理科も持っている先生はたくさんおりますので、そうした**専門性を生かして授業を交換する形でお互いが教え合うような形というのが一部教科担任制で、市がそれに対して何か補助的な人材を提供するなどもございます**。

これは、学力を先ほど申し上げたような形で高めるという意味ではなくて、**基礎・基本をきちんと身につけさせてあげたいという思いから進めていくものとして、今、考えている**ところでございます。そのように御理解いただければありがたいと思います。

**【笹岡委員】**わかりました。

　**この間の新自由主義的というか、競争的な要素のある社会が、私は体感としてどんどん早まっていると思っています**。

それこそ幼稚園の時代から、小学校の時代から塾といったこともありますし、これは公教育としてしっかり守っていっていただきたいなと思っておりますので、要望いたします。

　質問を続けます**。先生たちの多忙感を減らす中には、地域人材を探すこともある**と思いますけれども、地域の方々にどんどん手伝っていただくみたいな感覚で、八王子とかは教育支援人材バンクがあったり、神奈川県も教育委員会で人材バンクをつくっておりますけれども、こういったことは現状どうなのでしょうかということと。

私は、**生涯学習事業団とかに**さまざまな地域の人たちが積極的にかかわっていくところとも**連携したらいかがか**と思いますが、その辺はいかがでしょうか。

　もう一点、生涯学習事業団について伺います。この**生涯学習事業団は、今後、一層役割を担っていっていただくような大きな役割を持っていると思っております**。今後、吉祥寺図書館の指定管理も始まりますし、プレイスも通算1,000万人を超えたということで、非常に注目されているところであります。

　ホームページも見ましたら、非常に工夫されていて、とてもわかりやすかったです。今、何が募集中とか、きょうの屋外施設はどうかとか、お知らせの絞り込みも、大人向け、中学生向け、幼児向け、親子向けということで、すごくわかりやすく出てくるということで工夫されていると思いますが、この親子向けのものは現況、いかがでしょうか。託児とかもあったと思っているのですけれども、その辺の現況を伺いたいと思います。

**【秋山指導課長】**　学校の教育活動に地域の方にぜひたくさん御参加いただいて、御協力いただきたいなと思っているところでございます。

**本市においては、学校支援協力者リストというものを作成**いたしまして、学校のほうで、これなども活用しながら、地域の方にいろいろとお声かけをしてお手伝いいただくような取り組みを今、行っております。

　**事業団との連携については、例えば部活の外部指導員の件もございますので、そのあたりも含めて連携できるところを探ってふやしていきたいなと考えているところ**でございます。

**【竹内(公財)武蔵野生涯学習振興事業団派遣参事】**事業団のホームページをお褒めいただきまして、どうもありがとうございます。

　さまざまな**親子事業**を展開しているところですが、それに**欠かせないのは一時保育**という形でございます。

28年度におきましては、1,386名の御利用がございました。

実は、平成27年と28年を比べまして、保育料を半額にした。1,000円から500円にしましたということで、かなり保育の利用も上がっていますし、それに伴って、例えば事業の参加者も増加しているということでございます。

**【笹岡委員】**　　教育に関することに関しては、この人材バンクがあったほうがよりわかりやすいかなということを提案させていただきます。

八王子を見ますと**市のホームページに出ていて**、御興味のある方、御登録くださいということで、さまざまなところからピックアップできるような形になっていますので、これは提案とさせていただきたいと思います。

　生涯学習事業団のほうは、託児1,356名ということで、非常に多いなと思っております。

感覚ですと、生涯学習事業団の取り組みに関しては、小学校になると物すごく情報が入ってくるのですけれども、**未就学児に対して少し弱いところがあります**ので、この部分をより一層、啓発等できるように頑張ってやっていただきたいと思っております。

　もう一点は、**給食・食育振興財団について**伺いたいと思います。この給食に関しても、日ごろから皆様のおかげで、**安全性とか信頼感も非常に高まっている、評判の高い給食**だと思っております。

この中に、お米に残留農薬が検出されたので、当面、該当品の使用を停止したとありますけれども、お米も相当こだわって指定されていたような気がするのですけれども、この辺を詳しく、どのようなことだったのか伺いたいと思います。

**【北原(一財)武蔵野市給食・食育振興財団派遣参事】**本市の給食の３つの特徴のうちの一つが安全な食材の選定になります。これは、独自にかなり以前から、給食食材の選定基準というのを設けておりまして、さまざまな食材について独自の基準を受けております。

今、御指摘がございましたお米に関しても、**無農薬的なお米をなるべく使うとか、特栽培といったことを基準化**しておりまして、そういうラインに相当するお米を購入させていただいているという状況でございます。

　今、御指摘のありました事態については、食品の検査についてもかなり手を入れて行っておりまして、とあるお米に関して、先ほどおっしゃったような点で残留農薬が検出されましたので、そこの業者からの納入は停止いたしております。そういったものが**完全に行われない限り、使用は再開しないという方法をとっておりまして**、そういった一貫として、そういう記載があるということでございます。

**【竹内教育部長】**　学校をめぐる地域人材の活用ですが、先ほどちょっと課長がお答えしましたけれども、平成27年から教育推進室を設けておりまして、28年から配置した地域コーディネーターが各学校単位でいろいろな開発をしています。

それを学校につなげています。そういったことを**教育推進室が市全体の人材リストとして登録**して、例えば第一小学校の開発した人材が、西のほうの第二小学校でかかわっていただけるようになったり、そういう学校を超えた部分での人材の共有とリスト化。学校のほうにも、そういった人材リストを案内していますので、地域人材あるいは企業・団体も登録をしていますので、そういう開発とかコーディネートについては、以前と状況は大分変わってきたかなと思います。

**【笹岡委員】**　人材バンクの件は、コーディネーターさんとか、了解いたしました。

　給食・食育財団に関しては、**子どもが口に入れるもの**への安心感がこんなに高い給食というのも、他の自治体とか、私立もそうですけれども、比べましても**非常に評価するところだと思っています**ので、放射性物質検査も含め、これからもしっかりと頑張ってやっていっていただきたいと思います。

子どもたちからの人気も非常に高いと思っております。

　最後に要望ですが、**教育費全体に関して、これこそ未来への投資だと思っておりますので、しっかりとかけるべきところにかけて、また、教育の格差を減らすような施策、就学支援なども広まってきているところでございますが、プラットフォームになる学校と市行政と、またその他の皆様、全てが力を出し合って、未来への投資をしっかりとやっていっていただきたい**と思います。